令和４年11月17日

関　税　局　長
　諏訪園　健司　　殿

日　本　税　関　労　働　組　合
〔　税　関　労　組　〕
中央執行委員長　倉　本　和　邦

税関職員の処遇改善等に関する要請書
（税関労組中央総決起集会宣言に関する申し入れ）

税関労組は、定員確保、処遇改善及び職場環境の整備・改善などを求めて、日々活動を展開しています。2022秋季生活闘争期においては、先月12日に国家公務員制度担当大臣あてに「税関職員の定員確保等に関する要請書」を、人事院総裁あてに「税関職員の処遇改善等に関する要請書」を提出し、その要求項目の実現に向けて交渉を実施しました。

さらに、私たちは、「税関労組11.2中央総決起集会」を開催して『集会宣言』を採択し「健康で明るく働きがいのある職場」「ゆとり、豊かさが実感できる生活」の実現に向け、税関労組組合員の総力を結集して取り組みを進めていくことを確認しました。

貴職におかれましては、この集会宣言の趣旨を十分に理解され、「健康で明るく働きがいのある職場」となるよう、税関労組からの諸要求の実現に向け、格段の努力を要請します。

集　会　宣　言

わたしたち日本税関労働組合は、「健康で明るく働きがいのある職場」、「ゆとり、豊かさが実感できる生活」の実現を理念とし、日々、活動を展開し続けている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、訪日外国人旅行者数は大幅減となったが、本年１０月１１日に１日あたりの入国者数の上限が撤廃され、入国旅客数が増加している。さらに、越境電子商取引の拡大による航空貨物などの激増、ロシア情勢や経済安全保障に係る輸出貨物への対応など、水際における厳格な取り締りを行うための体制整備が必要である。

他方、不正薬物の押収量は６年連続で１トンを超え、深刻な状況となっており、さらに密輸手口も巧妙化して、これまで以上にマンパワーが必要であり、税関職員の定員確保、大幅な増員は喫緊に解決すべき課題である。

加えて、国家公務員の定年の段階的引き上げなど、将来に対して不安を抱かざるを得ない問題も山積しているが、水際の第一線にあって、国民の安全と安心を守り、適正・公平に関税等を徴収し、貿易の円滑化を推進して経済の発展に寄与すべく、わたしたちは日夜、誇り高く職務に精励している。

どんなに社会情勢や環境が変化しようとも、わたしたちは、国民から負託された税関職員としての使命を果たしつつ、要求の実現のために、全国の仲間が結ばれていることを基盤として、自らの意思を行動に移していかなければならない。

先日開催した第６３回定期大会において、組織の重点取組を盛り込んだ運動方針を決定した。さらに、本集会における力強い決意表明をもって、要求の実現に向けて考え行動していくことを、本日あらためて確認した。

わたしたち日本税関労働組合は、「健康で明るく働きがいのある職場」、「ゆとり、豊かさが実感できる生活」の実現を目指し、全国の仲間とともに総力を結集して、税関という職場の未来のため、いかなる困難にも屈することなく最後まで闘い抜くことをここに宣言する。

令和４年１１月２日

日本税関労働組合
１１.２中央総決起集会